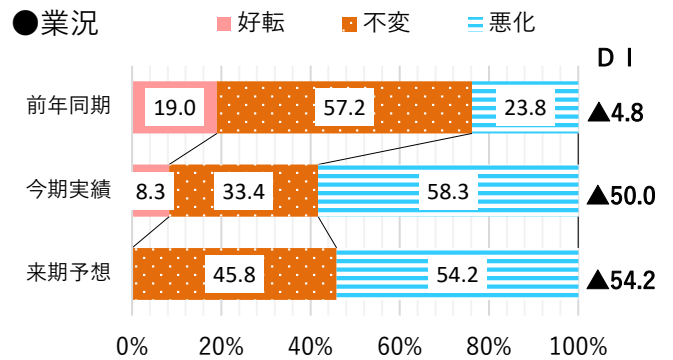


卸 売 業

業況、売上、採算

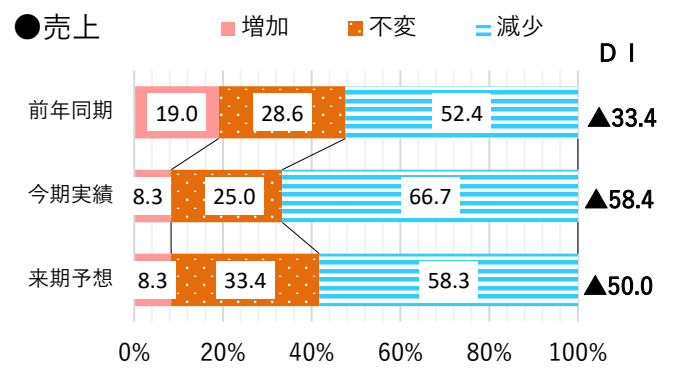
今期(2020.10~12)の業況判断DIは▲50.0で、前年同期(2019.10~12)と比べ45.2ポイント低下し、大幅に悪化しました。

来期(2021.1~3)は、業況の悪化傾向が続くと予想しています。



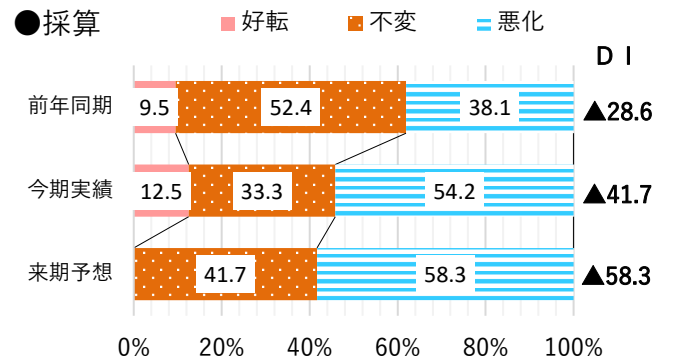
今期の売上DIは▲58.4で、前年同期と比べ25.0ポイント低下しました。

来期は、売上の減少傾向が弱まると予想しています。

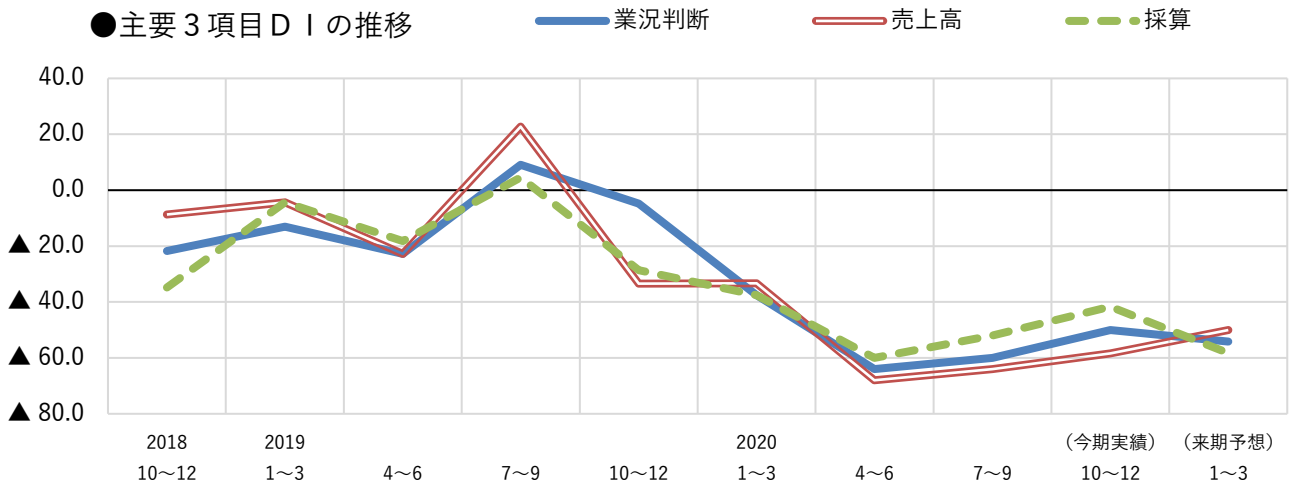


今期の採算DIは▲41.7で、前年同期と比べ13.1ポイント低下しました。

来期は、採算の悪化傾向が強まると予想しています。



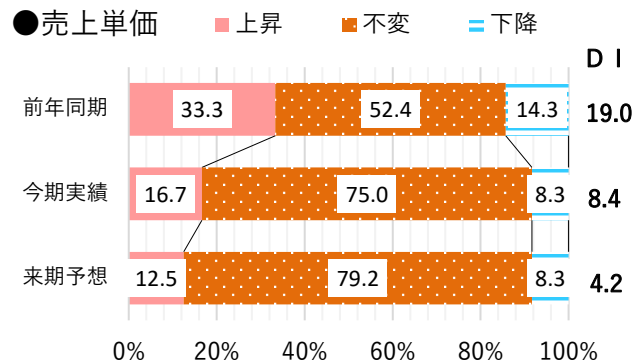
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

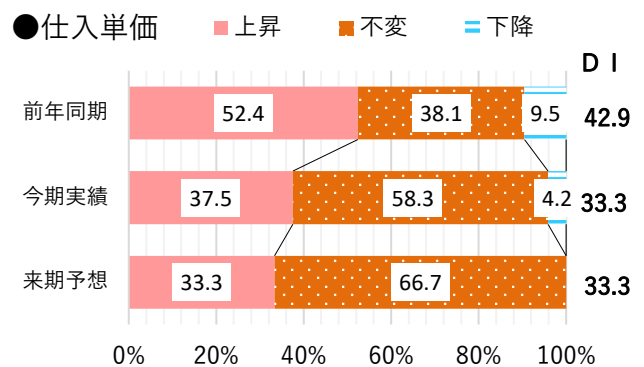
今期の売上単価DIは8.4で、前年同期と比べ10.6ポイント低下しました。

来期は、売上単価に大きな変化はないと予想しています。



今期の仕入単価DIは33.3で、前年同期と比べ9.6ポイント低下しました。

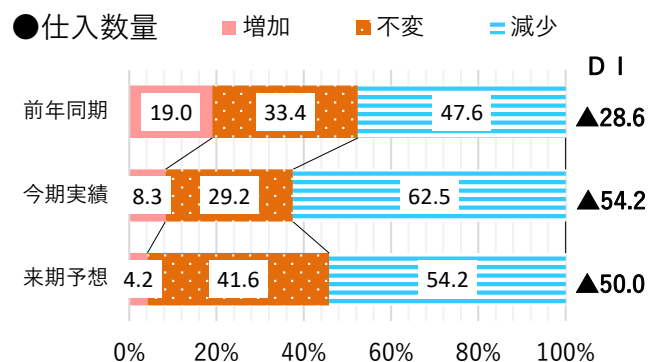
来期は、仕入単価の横ばいを予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

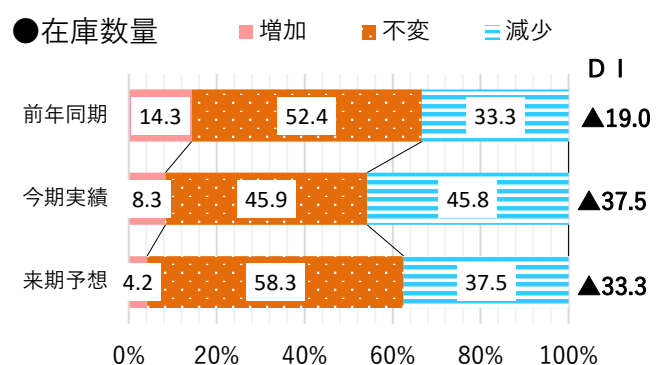
今期の仕入数量DIは▲54.2で、前年同期と比べ25.6ポイント低下しました。

来期は、仕入数量の減少傾向が続くと予想しています。



今期の在庫数量DIは▲37.5で、前年同期と比べ18.5ポイント低下しました。

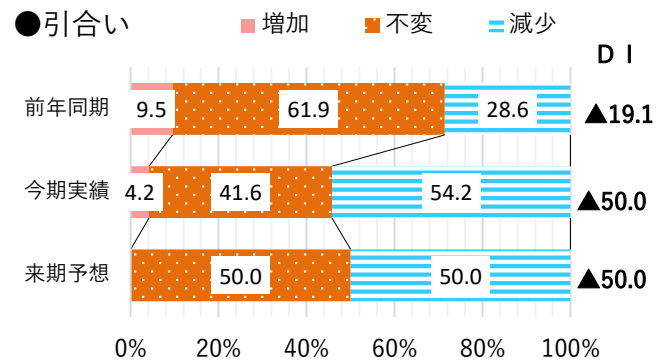
来期は、在庫数量の減少傾向が続くと予想しています。



引合い

今期の引合いDIは▲50.0で、前年同期と比べ30.9ポイント低下し、大幅に減少しました。

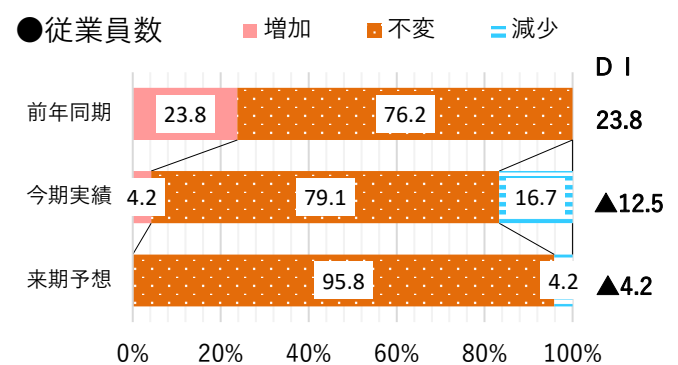
来期は、引合いの横ばいを予想しています。



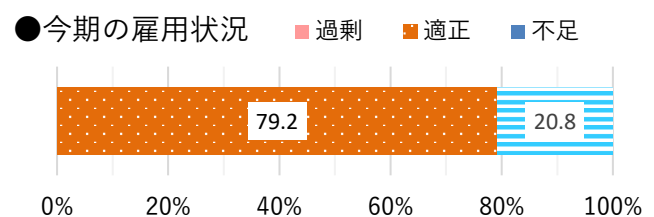
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲12.5で、前年同期と比べ36.3ポイント低下し、大幅なマイナスに転じました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は79.2%、不足していると回答した企業の割合は20.8%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の70.8%を占めています。

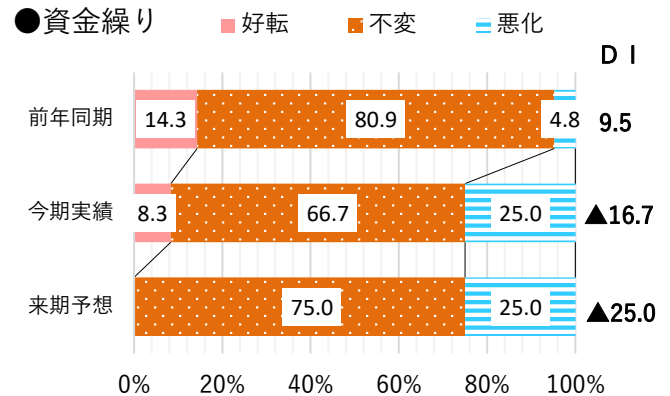
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」、「前年同期比で減少し、充足している」、「前年同期比で減少し、不足している」（同位）という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	17
	不足	2
減少した	過剰	0
	適正	2
	不足	2

資金繰り、設備投資

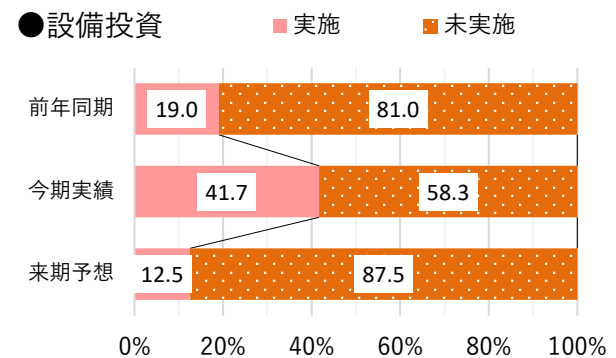
今期の資金繰りDIは▲16.7で、前年同期と比べ26.2ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が続くと予想しています。



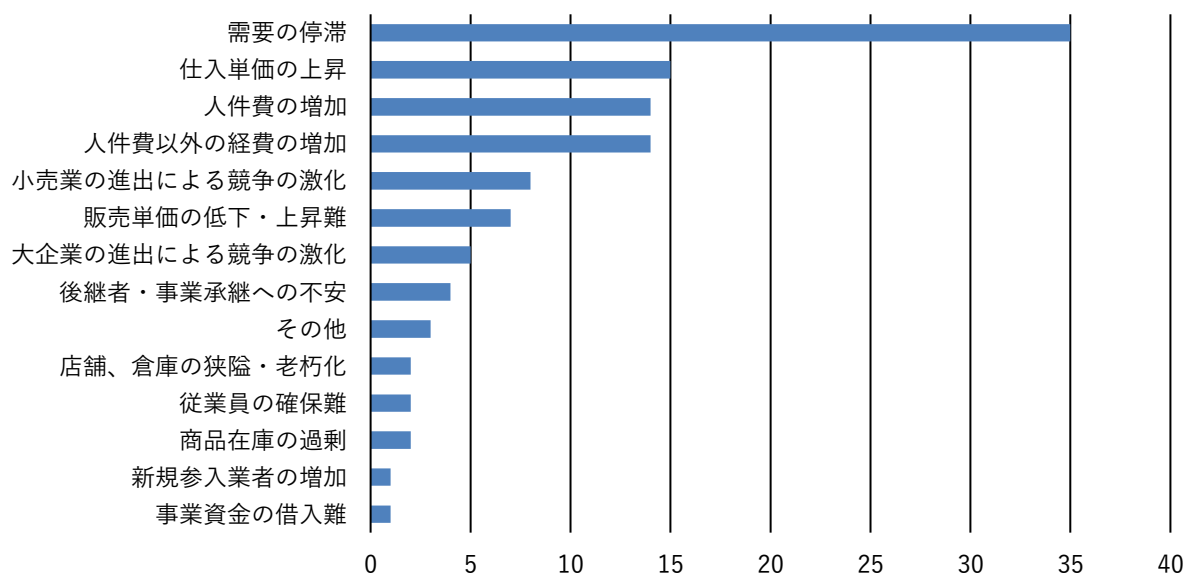
設備投資を実施した企業の割合は41.7%で、前年同期と比べ22.7%増加しました。投資内容は1位が「OA機器」、2位が「車両運搬具」でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は12.5%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」（同位）の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 訪問や対面による営業が難しい状況で、取引先の新規開拓ができず、業況が悪化した。一方で有能な人材確保の機会であるため、将来に向けた投資として採用数を増やしている。（電気機械器具卸売）
- コロナ禍で原油価格が下降し、売上が減少した。（石油卸売）
- 北海道新幹線工事、余市～共和間高規格道路建設工事関連の商材の売上が好調だった。（建築材料卸売）
- G o T oキャンペーンにより、人が動いたことで需要が回復傾向にあったが、急ブレーキがかかり、受注数が減少した。観光、飲食関連の企業は厳しい状況にある。（食料・飲料卸売）
- 前年同期比の売上は112.6%、収益は108.7%だった。（食料・飲料卸売）
- 10月の売上は増加したが、11月以降は減少した。（水産物卸売）
- 新型コロナウイルスにより、売上が減少した。（水産物卸売）
- 冬支度のため、冬用の部品や用品の売上が増加した。（自動車部品卸売）
- コロナ禍のため、売上が減少した。（包装資材卸売）
- 前年同期とほぼ変わらない売上で推移し、特に問題はなかった。（鉱物・金属材料卸売）
- 戸建ての改修工事が少なかった。現在は公共工事と後志管内への納品が主となっている。春から夏にかけての売上減少の影響を受けている。（塗料販売）

[来期の業況について]

- 今の経済環境は、新型コロナウイルスの対策が進まない限り好転せず、業績も悪化が予想される。今は耐えながら、会社の改革を進め、卸売業と並行して技術部門の強化を図る。（電気機械器具卸売）
- 原油価格の上昇による売上の増加を見込む。（石油卸売）
- 小樽エリアでの北海道新幹線工事が本格的に始まるため、工事関連の商材の動きが活発になると思われる。（建築材料卸売）
- 需要の停滞が続くと思われる。（食料・飲料卸売）
- 新型コロナウイルスによる売上不振が続くと思われる。（水産物卸売）
- 全く見通しが立たない。（水産物卸売）
- 積雪量が多ければ、除排雪や事故車両の修理、板金部品の売上が増加する。車検業務は減少を見込む。（自動車部品卸売）
- 新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からず、見通しが立たない。（包装資材卸売）
- 新規物件が少なく、予想は難しいが、例年閑散期のため、深刻には考えていない。（建築材料卸売）
- 新型コロナウイルス終息の兆しが見えるまで、厳しい状況が続くだろう。（塗料販売）